

○病院の経営改善について
(神奈川県三浦市立病院)

三浦市立病院は、平成19年度以前は10年近く基準外繰入金がないと赤字が出せない状況が続き、当時の市長が、病院経営を病院長と民間公募で採用した新事務長に任せ、自らは管理者に徹する英断をしたことにより、平成20年度から経営改革が始まりました。地方公営企業法の全部適用を選択し、改善提案70項目を掲げて病院の経営改革に取り組み、平成24年度には赤字から黒字に転換しました。

収入確保策として、病床の積極的改変や専門外来の開設、人間ドックメニューの充実、開業医と



三浦市立病院で職員から説明を受ける議員

の連携による検体検査受託、来院者駐車場の有料化などの取組を、費用削減策として、医療職給与の適正化、SPDシステムやVPP（症例単価）契約の導入などの取組を行いました。

現在、改善提案は107項目に増え、全職員が経営意識をもって病院経営に取り組んでいます。

- ※1 SPDシステムとは…病院内における物品の購入から保管、使用までの一連の情報を一元管理するシステム
- ※2 VPP（症例単価）契約とは…医療機器などの使用料を、実施した症例数に応じて支払う料金の支払い方式

友好都市交流事業

高森町訪問(長野県下伊那郡高森町)

訪問日 令和6年10月25日(金)

26日(土)

視察先及び内容

○山吹ほたるパーク

(長野県フットボールセンター)

○第42回高森ふるさと祭り

平成19年9月に友好都市提携を締結している長野県高森町を訪問しました。

10月1日にオープンしたばかりの山吹ほたるパークは、長野県サッカー協会から「南信地域のサッカー拠点」となるサッカー場等のスポーツ施設を造りたいという要望を受けて、高森町山吹ほたるパーク周辺の開発が進められて完成した施設です。日本サッカー協会公認規格の人工芝グラウンド一般用1面(少年用2面)、約440名収容可能な観覧席、施設西側に生息しているゲンジボタルの環境を害さないように配慮された照明器具、防球ネットなどが完備されていました。

第42回高森ふるさと祭りでは、会場内にハロウィンの装飾がされ、仮装で来場した町民も多く、

イベントを盛り上げていました。また、友好都市PRでは、御前崎市観光協会や茶業振興協議会が出展し、多くの来場客がゆひかりやイセエビ汁を求めてブースを訪れていました。



山吹ほたるパーク見学



高森ふるさと祭り開会式 議長登壇